

るようになっていきます。では、スリップサインが出るまで、冬期間も走っていいのでしょうか。答えは **NO!!** です。冬タイヤには、スリップサインとは別に、プラットホームという溝の残りが**50%**になると表れるサインがあります。このサインが表れると、氷上でのブレーキ性能の低下やスリップの危険性が高まります。このプラットホームにも、位置を表す矢印（↑）がタイヤのサイドについています。

冬タイヤを買ってから2シーズン目3シーズン目になると、使用途中でプラットホームが表れる可能性も出てきます。タイヤを交換するときにはもちろん、月に1回程度はプラットホームが表れてい

ないかチェックをしてみてください。その際、できれば空気圧のチェックもしたいですね。

弊社では、トーヨータイヤのタイヤを扱っております。タイヤで疑問点などがありましたら、担当営業までお問い合わせください。

(M)



第25回群馬県老人保健施設大会

去る10月24日に、前橋のベイシア文化ホールをメイン会場に、第25回群馬県老人保健施設大会(老健大会)が開催されました。

老健大会では、毎年、県内の老健施設が集まり、各施設での講演発表や講師を招いてのセミナーなどを行っています。老健施設に従事する職員が、介護業務を通じて研究した成果を発表・共有するとともに、最新の医療介護情報を外部講師より習得することを目的とした大会です。また、介護機器・高齢者用食品などの企業の商品展示を行い、施設利用者のための最新の商品情報を提供し、導入検討の機会とするなど、老健施設における介護をめぐる課題についての情報提供の場としても活用されています。当社は出展会社として参加いたしました。

当日は多数の来場者を迎えて盛大に執り行われ、各会場で発表や表彰式、特別講演などが開かれました。プログラムの合間や休憩時間には、来場者が出展会社の展示コーナーを訪れて、商品の説明を受け、実際に商品の試食、試飲や体験をしていました。

当社は病院・施設向けに『大人用紙おむつ』を販売しております関係で、

この大会に当初より協賛・参加しております。各オムツメーカーの多種多様な尿取りパッドやテープ止めタイプ、パンツタイプや、当社で扱っているマスクやプラスチック手袋など介護現場で役立つ商品を展示、紹介させていただきました。

大勢の方々に当社のブースに立ち寄っていただきまして、心より御礼申し上げます。同時に、展示時間終了前に事前に用意したサンプルを配り終えてしまったため、全ての方にサンプルやカタログをお配りすることができず、口頭での商品紹介という形で対応させていただいたことに、この場を借りてお詫び申し上げます。

当社は、今後も介護現場を側面からサポートし、お役に立てるように努めてまいります。

(ま)



スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町2-2-8

電話番号
代 表

027-361-5808
営業1部
027-361-5734
営業2部
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-okamoto
@kamisugiura.co.jp

特 集
・クリスマス由来

・新製品 ユーライ DRY

・インフルエンザ予防

・12月16日は紙の記念日

・スタッドレスタイヤの状態は
いかが？

・第25回群馬県老人保健施設大会

クリスマスの由来

今年も早いもので、残りひと月で終わろうとしています。大袈裟かもしれませんが、ついこのあいだ年始の挨拶やタオル配りをしていたような気がしていました。年を取るにつれて1年が早く感じると言われますが本当にその通りだと思いました。

今月の1大イベントと言えば『クリスマス』ですが、実は私は12月25日生まれで、小さな頃は誕生日とクリスマスが両方来るのがとても楽しみでした。しかし、ケーキは1つだったので子供ながらに少し切ない気持ちもありました。

1年のイベントの中でもクリスマスの経済効果は凄く、バレンタインデーで約1080億円、最近日本で人気急上昇中のハロウィンでも約1200億円ですが、クリスマスはこの2つよりも上に行く約6740億円です。

私のクリスマスの知識は、毎年家族や恋人とケーキやチキンを食べて過ごしたり、イエス＝キリストの誕生した日だと言う事くらいしか知らなかったのも、せっかく自分の誕生日でもあるのでいろいろ調べてみることにしました。

クリスマスの由来には諸説があります。紀元前にはこの時期、多くの民族の間で収穫を感謝し、太陽の再生を祝う冬至のお祝いを行っていました。その当時は家族や友人同士が集まって楽しく会食し、厳しい冬に備えて体力を蓄えるものだったようです。

また、4世紀半ばになると太陽神を崇拝するミトラ教と言う宗教がローマで大きな力を持っていました。その神様を祭る祝祭日が12月25日だったそうです。そこで、初期のキリスト教指導者達は異教徒との摩擦を生むのを恐れて12月25日をクリスマスにしたという説があります。その後イエス＝キリストが生まれた日

として宗教的な意味合いが加わり今のような形になったようです。

語源の由来はラテン語で、『キリストゥス・ミサ』の略で、Christ(キリスト)+mas(礼拝)を意味します。よく使われる Xmas は、X＝ギリシャ語でXristos(キリストス)の頭文字+mas(礼拝)から来ています。

子供たちにプレゼントを届けるサンタクロースにも、モデルになった人物がいます。4世紀に実在した人で司教の聖ニコラウスと言う人物でした。彼は貧困に苦しむ人々に大変優しいと有名で、自分の富を喜んで人々に分け与えたそうです。ある時ニコラウスは、貧乏のため三人の娘を身売りしなければならぬ家があることを知りました。彼はその家の煙突に金貨を投げ入れ、金貨は干してあった靴下の中に入りました。そのおかげで三人の娘を身売りしないですんだそうです。セントニコラウスをオランダ語にすると『シンタクラース』で、そこから変化して今の『サンタクロース』になったそうです。靴下にプレゼントを入れるのもこの出来事がきっかけだったそうです。

私はたまたま産まれた日がクリスマスですが、最近では語呂合わせなどで、10月にニュースレター紹介させていただいた『めがねの日』など、たくさんのイベント日があります。自分が生まれた日が何の日なのか、またその由来などを調べてみると、より一層自分の誕生日が好きになり愛着が沸くのではないのでしょうか？

(S)



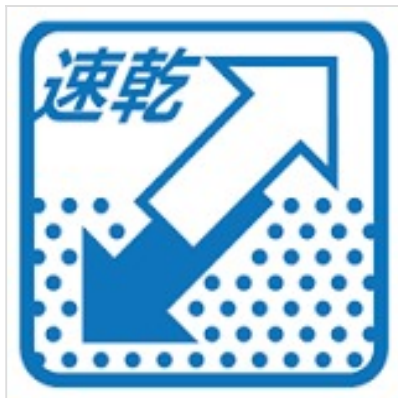
新製品 ユーライト DRY

日本製紙より新製品「ユーライト DRY」が発売されました。ユーライト DRY とは名前のとおり、日本製紙の A2 マット紙の代表銘柄であるユーライトがベースで業界でもトップのインキ乾燥性をもたせた商品となっております。その為、小ロットでの作業や短納期の仕事においても作業効率が良く、印刷後や製本時のこすれ汚れも大幅に軽減するという優れたものです。そんな乾燥性を高くもったユーライト DRY の秘密は塗工する材料にあります。

通常インキはインキに含まれる油成分が紙に染み込み、表面に残った顔料が酸素と化学反応を起こして定着していきますが、ユーライト DRY は塗工する材料を従来の粒子より細かいものを使用しています。そのためにインキの油成分が紙内部に浸透しやすくなり、インキの定着するまでのスピードが速く、乾燥性が従来のマット紙の約四分の一の時間となっております。またマットコート紙は広い用途で使用されておりますが、その表面はミクロの世界で見ると凸凹があり、ザラザラしています。それで紙がこすれる事でインキが削られて傷や汚れになってしまうのですが、ユーライト DRY は細かい粒子の材料を使用している為、

表面はすべすべで滑らかな質感となっており、こすれや汚れにも強い仕上がりになっています。印刷後の乾燥も時間短縮され、こすれ汚れなどの発生も抑えられ、にじみや色の沈みもなくデザイン性を損なわずに印刷ができるという、印刷会社様には嬉しい商品ではないでしょうか。どうぞお気軽に担当営業までお問い合わせ下さいませ。

(み)



インフルエンザ予防

2015 年も残すところあとわずかになりました。何かと忙しくなる師走は、感染症が流行る時期でもあります。一年の締めくくりと始まりに風邪やインフルエンザだけは避けたいものですね。予防接種やマスク、手洗い、うがいで予防等をすでにしている方は多いかと思いますが、実は食事でも予防が出来るといわれています。それは特別な食事ではありません。ご飯やパンなどの主食と肉や魚などの主菜に加え野菜料理の揃ったバランスの取れた食事です。その中で、ぜひ入れたい栄養素は「ビタミン D」です。魚介類やきのこ類に多く含まれる栄養素ですが、日光に当たることで皮膚でも作る事が出来るビタミンです。このビタミン D はガン・インフルエンザの予防効果があると世界で注目のビタミンです。きのこ類は県内でも生産されているのでよく召し上がる方も多いかと思いま

すが、残念ながら群馬県は海がないこともあり魚を食べる頻度が低いといわれています。また、冬のこの時期は肌の露出も少なくなるので皮膚でビタミン D を作る量も減少してしまいます。ですから、たっぷり魚介類やきのこを使った鍋料理やスープなどの煮込み料理を食べ、休みの日には運動もかねて日光浴を試みてはいかがでしょうか？

(み)



12 月 16 日は紙の記念日

皆さんは紙の記念日をご存知でしょうか？紙の記念日は 12 月 16 日で、これは 1875 年 12 月 16 日に、実業家の渋沢栄一の提唱で設立された紙を作る「抄紙会社」が、東京都の王子で開業したことを記念して作られた記念日です。

世界で初めて紙が誕生したのは紀元前 2 世紀頃の中国で、書きやすく加工がしやすかったため、長い時間をかけて世界中に広まりました。日本には 7 世紀までに紙の製造方法が伝わり、和紙として発達し、江戸時代には武士を始め一般庶民にも普及しました。一方ヨーロッパでは産業革命によって製造工程が機械化され、18 世紀後半から洋紙が大量生産できるようになりました。明治初期に機械による製紙技術が導入されると、日本でも洋紙が本格的に生産されるようになりました。

渋沢栄一によって設立された抄紙会社の工場には、イギリス製の機械が導入されていました。会社を設立した渋沢は、日本の文明水準の向上には書物の普及が必要であると考え、出版事業を興すために、大量に印刷可能な西洋式の印刷機に使用できる洋紙を製造する製紙産業を盛んにする必要があると考えました。

王子の地が選ばれたのは、川の近くで紙の生産に必要な水が得られるとともに原料や製品の運搬に便利であること、また当時は洋紙の原料はボロ布だったので、大都会・東京のそばで原材料が大量に得

やすかったことです。日本で木材パルプを製紙原料に使い始めるのは 1899 年からです。この抄紙会社は現在の王子製紙と日本製紙のルーツです。

ただ、日本で最初に洋紙の生産を始めたのは実はこの会社ではなく 1874 年 6 月に営業を開始した有恒社です。抄紙会社より一年以上早く洋紙の生産を開始していました。歴史的に見ると、抄紙会社が 1893 年に王子製紙と改称し、1924 年に有恒社と北海工業を吸収して、更に 1933 年には富士製紙と九州製紙を吸収していますので、結果的には一緒の会社になっています。

なお、蛇足ではありますが王子製紙は戦後巨大すぎるとして解体され、苫小牧製紙、本州製紙、十條製紙に分割されました。この内の十條製紙は 1993 年に山陽国策パルプと合併して日本製紙となり、2003 年には更に大昭和製紙と合併しています。苫小牧製紙は 1952 年に王子製紙と改称し、後に北日本製紙、日本パルプ工業、東洋パルプを吸収して、1993 年に神崎製紙と合併し、新王子製紙になります。1996 年に本州製紙と再合併して王子製紙の名前に戻ります。

本来であれば、有恒社の開業日の方が早いのですが、紙の記念日になったのは後発の抄紙会社の開業日となっています。これは、一緒になった後の主体が抄紙会社の方であったからだと思われます。(お)

スタッドレスタイヤの状態はいかが？

北海道では先月下旬に雪が降り続き、札幌市では 44 センチの積雪と、11 月としては 62 年ぶり的大雪になったと報道されました。報道ではさぞ大変なことのように言われていました。11 月としては確かに多いのですが、道産子の私としては、冬期間の雪としては特段多いわけでもないかと。報道と感じ方とのギャップが面白かったです。

さて、冬といえば、車のタイヤはもう履き替えましたか？ そろそろ履き替えようとしている方も多いかと思います。春に夏タイヤに履き替えて、そのままの方も多いのではないのでしょうか。

タイヤを履き替える際にぜひとも確認していただきたいのが、タイヤの摩耗度合です。

夏タイヤにはスリップサインという、溝の残りが

が 1.6mm になると表れる、太い溝の間にある一段高くなっている部分をご存知でしょうか。ちなみに、タイヤのサイドにスリップサインの位置を表す三角印（△）が 6 か所あって、探しやすくなっています。このスリップサインが表れたタイヤで走ることは法令で禁止されています。タイヤの溝は、タイヤと路面との間の水はけを良くして滑りにくくする役目を果たしていますが、溝が減ると水はけが悪くなり滑りやすくなります。このため、これ以上溝が減ると危険というのが解り易いようにスリップサインがついています。

このスリップサイン、冬タイヤにもついています。同様に溝の残りが 1.6mm でサインが出

裏面に続きます→